

歴史から紐解く小川の街並み

2024.1.20 | Ye Chenfei 森田 葵

自己紹介

Ye Chenfei

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 GPSS-GLI専攻
研究生

森田 葵

東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 景観研究室
修士一年

小川町の印象

古くから残る建築物



まちの中心が駅前の商店街



江戸時代以来市などで栄えていた旧街道



目的

過去

まちの歴史
人々の生業
当時の風景

現在

建築・街並み
の現状
建築をめぐる
取り組み

これから

こんなまちに
したい
こんな風景が
見たい

発表

ワークショップ

調査方法

①ヒアリング

- ・木谷海斗さん（地域おこし協力隊/KIWI architects）
- ・新田文子さん（小川町立図書館館長）
- ・高橋かのさん（小川まちやど）
- ・平山雅士さん（NPO法人 小川町創り文化プロジェクト）
- ・平山友子さん（NPO法人 小川町創り文化プロジェクト）
- ・笠原和樹さん（センティード(株)）

②資料調査

- ・古写真（小川町教育委員会提供/女郎うなぎ福助店内撮影）
 - ・完全版S53小川町調査報告書（東京都立教育研究所）
 - ・営業便覧と町並み復元図 小川町合併五〇周年小川町のあゆみ
 - ・絵図でみる小川町
- ・埼玉県比企郡小川町 地域遺産調査（NPO法人 小川町創り文化プロジェクト提供）

ご協力ありがとうございました。

道を中心に発展してきた小川の街並み



・ 車道が整備される前は
完全な一体となった通り

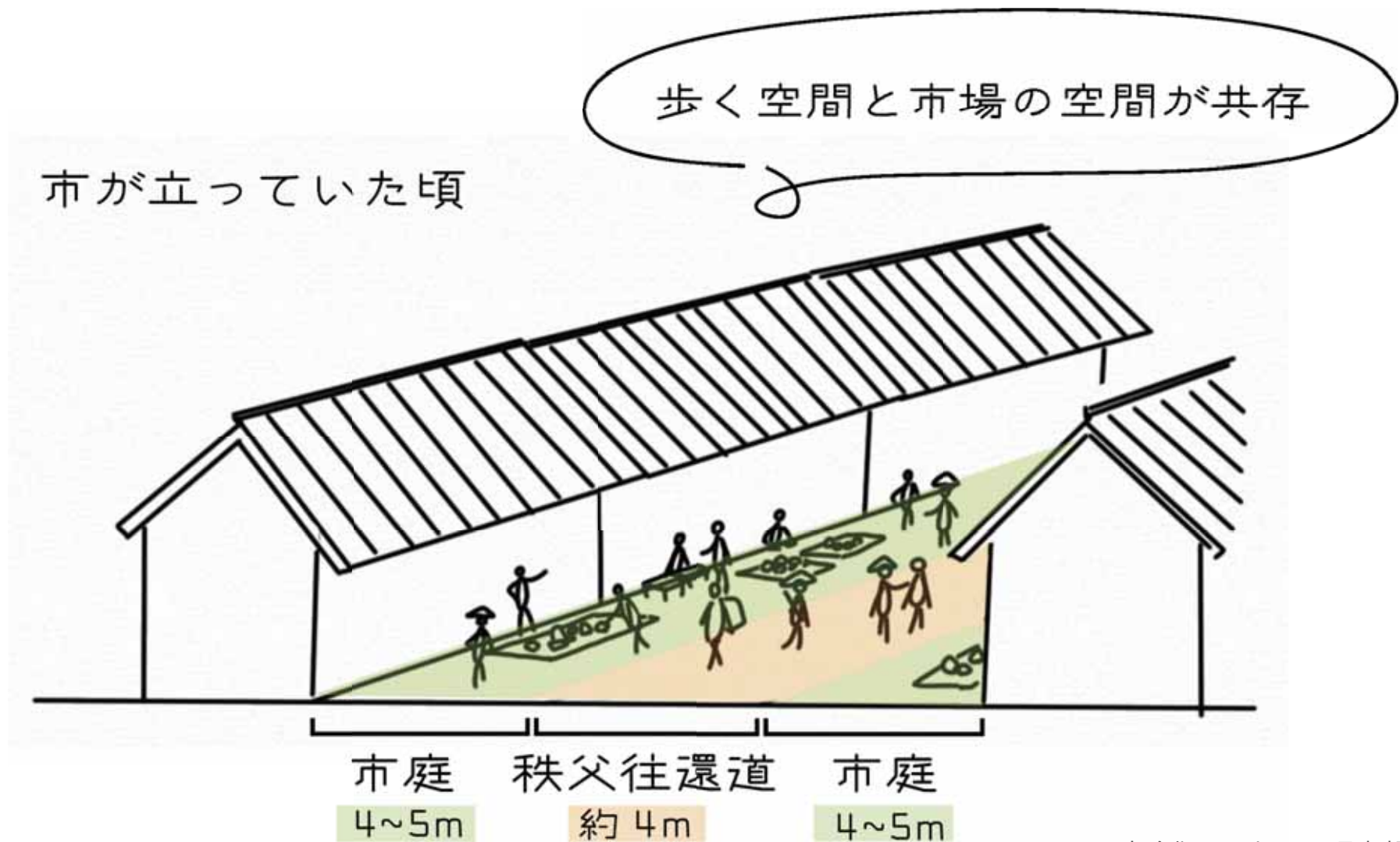
・ 路上には
自由に人が溢れていた



・ イベント時には、
道路は歩行者で混雑する

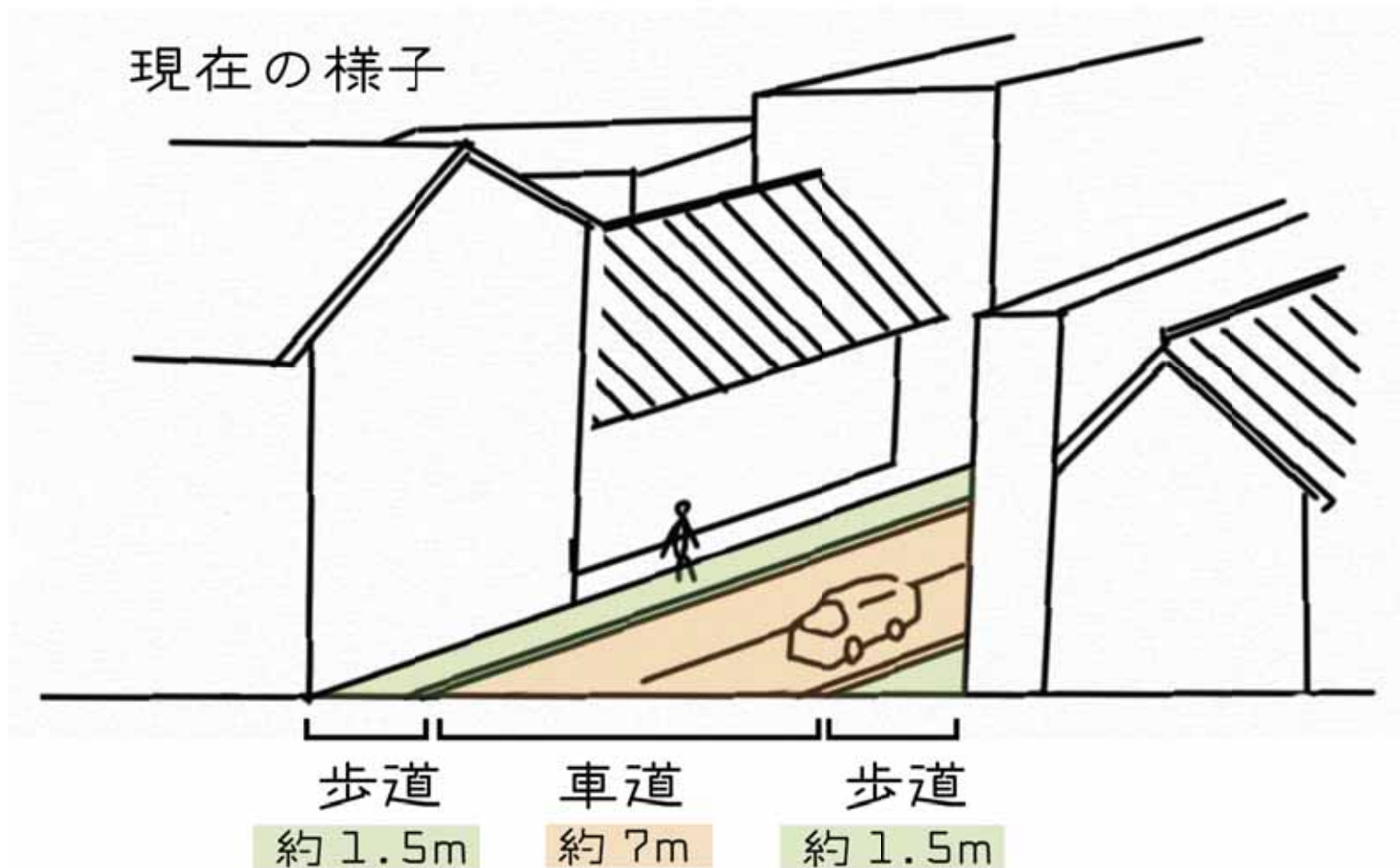
「市庭」という名のオープンスペース

建物と往還道の間には「市庭」と呼ばれる中間領域が設けられ、市が発展していた。



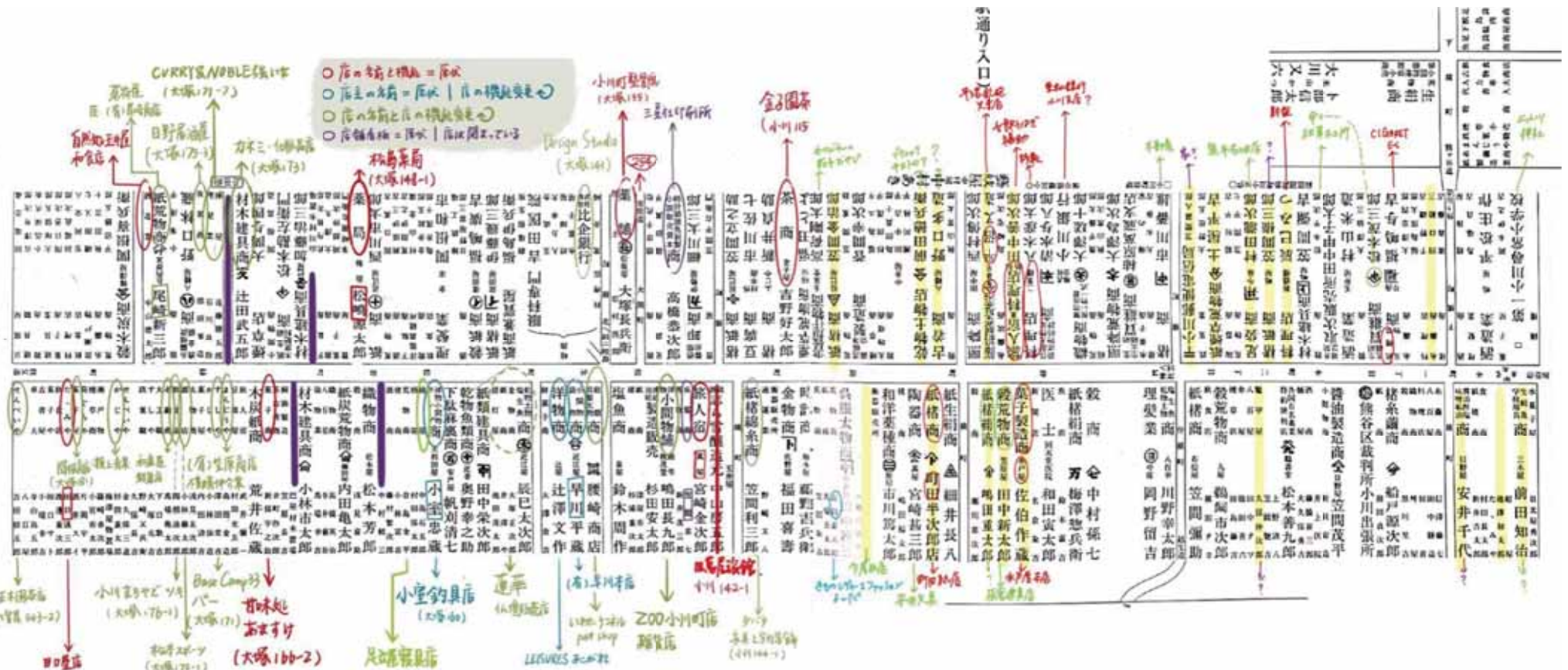
「市庭」という名のオープンスペース

歩車分離が進み人の滞留空間が消失



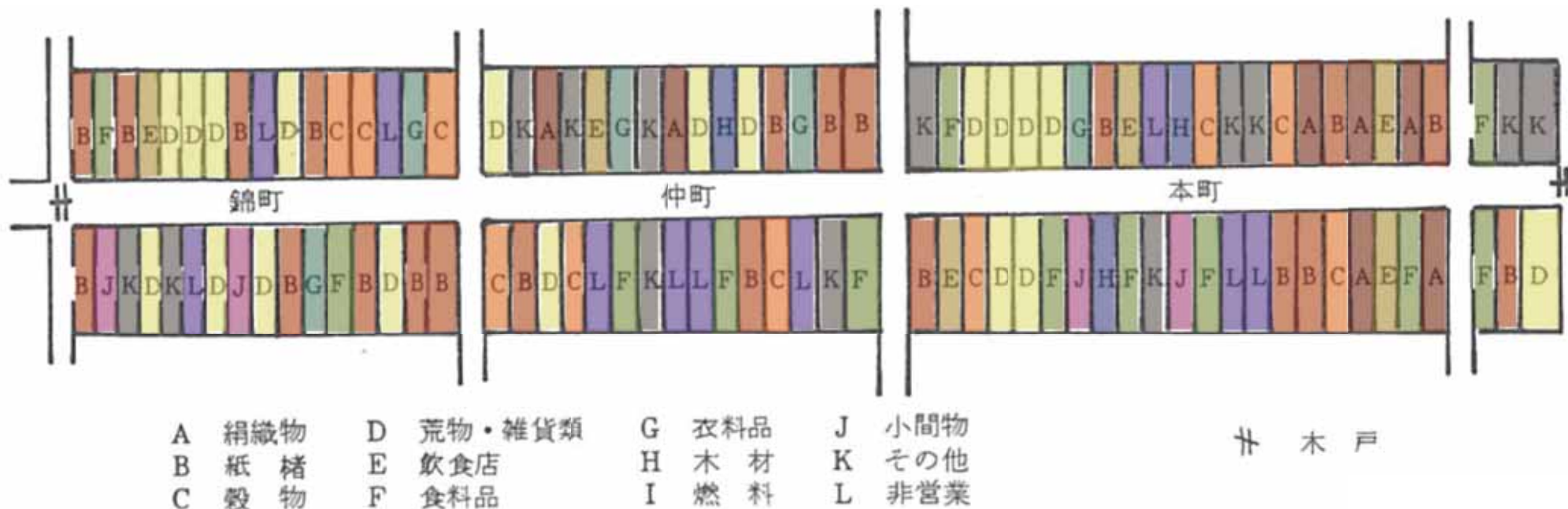
街道沿いの商店の変化

商店の移り変わり



街道沿いの商店の変化

明治35年頃の業種別商店分布

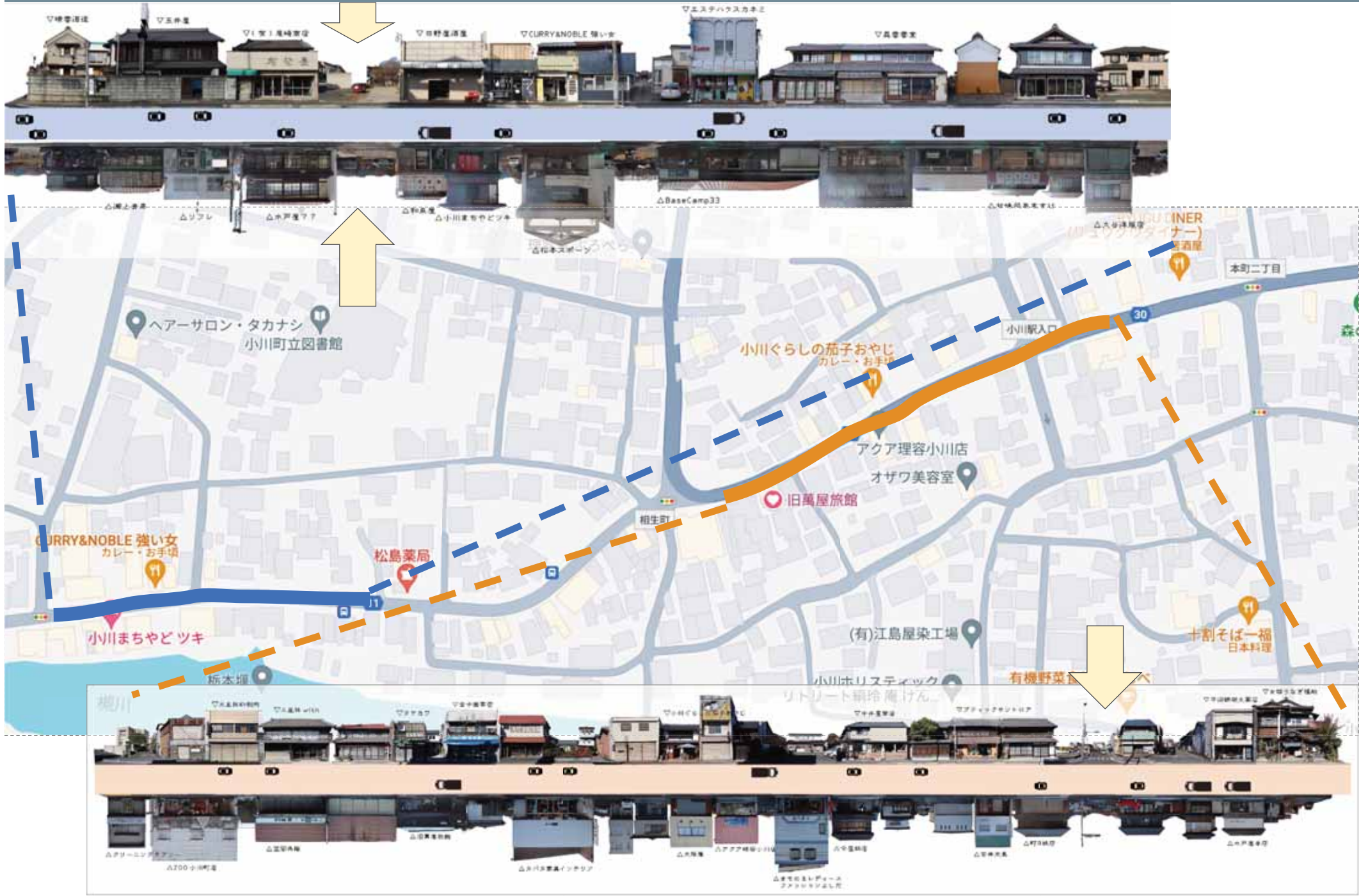


市によるまちの潤い

→裕福な人が多く今も店を続ける必要がない

→空き店舗の増加に影響？

現在の街並み



点在する空地

住宅の前のスペースは個人の駐車場に、建物の跡地は公の駐車場として使われていることが多い印象



建築が所狭しと密集していた昔に比べやや建物が歯抜け状態

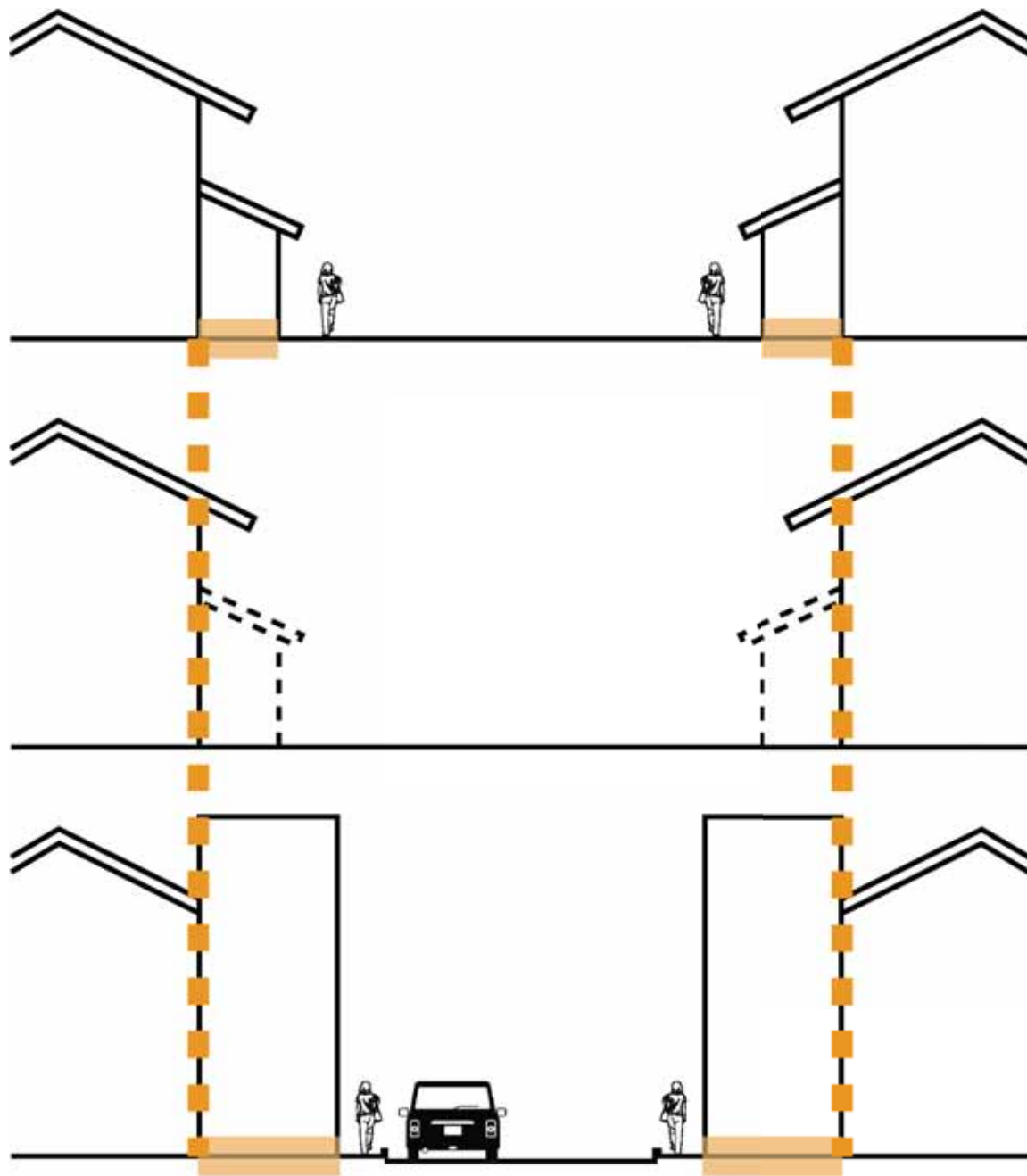
かつての建築の名残？



かつての建築の名残？



かつての建築の名残？



通りに面する部分に増築



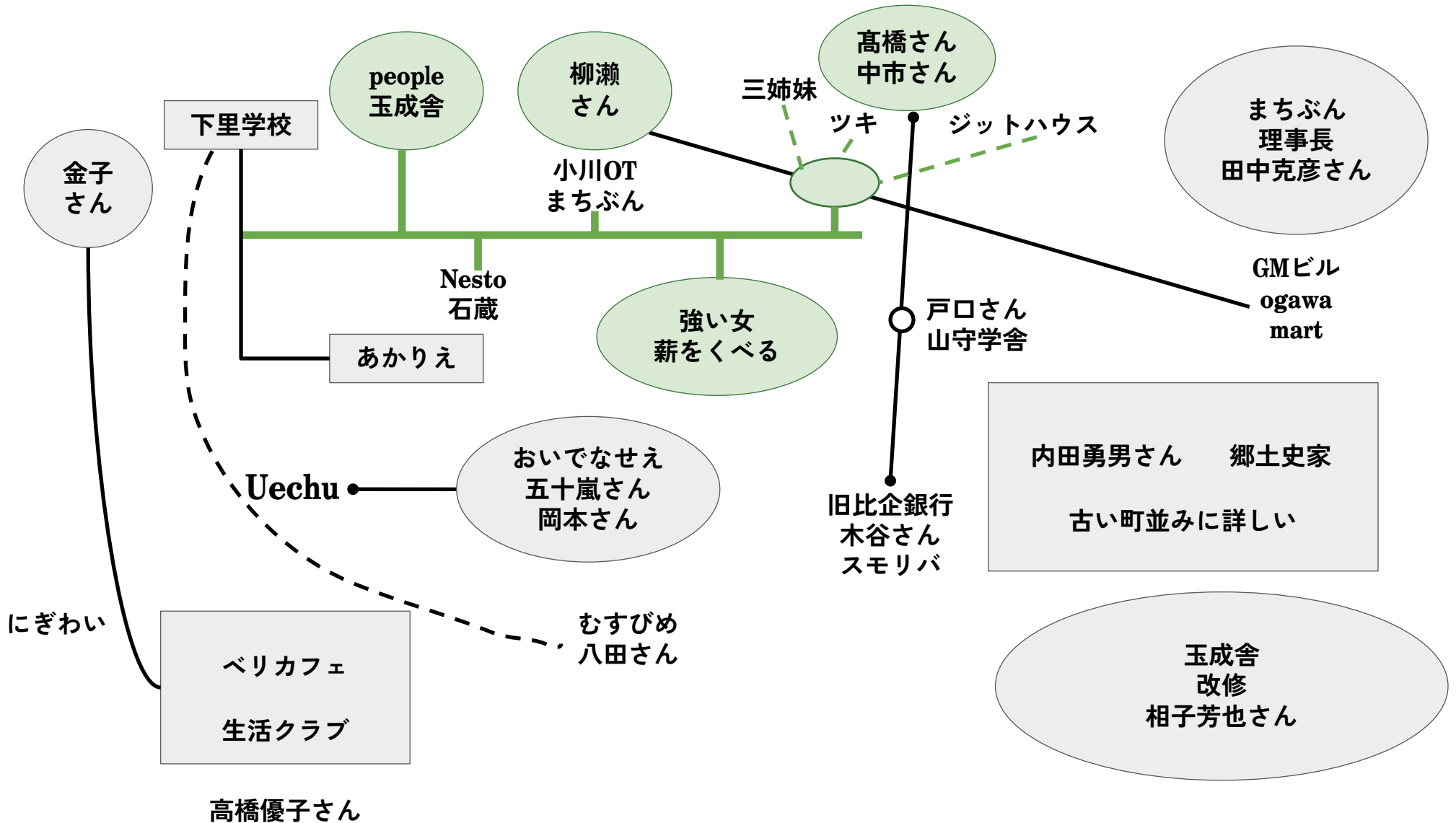
歩道が圧迫される

建築や街並みをめぐる近年の取り組み



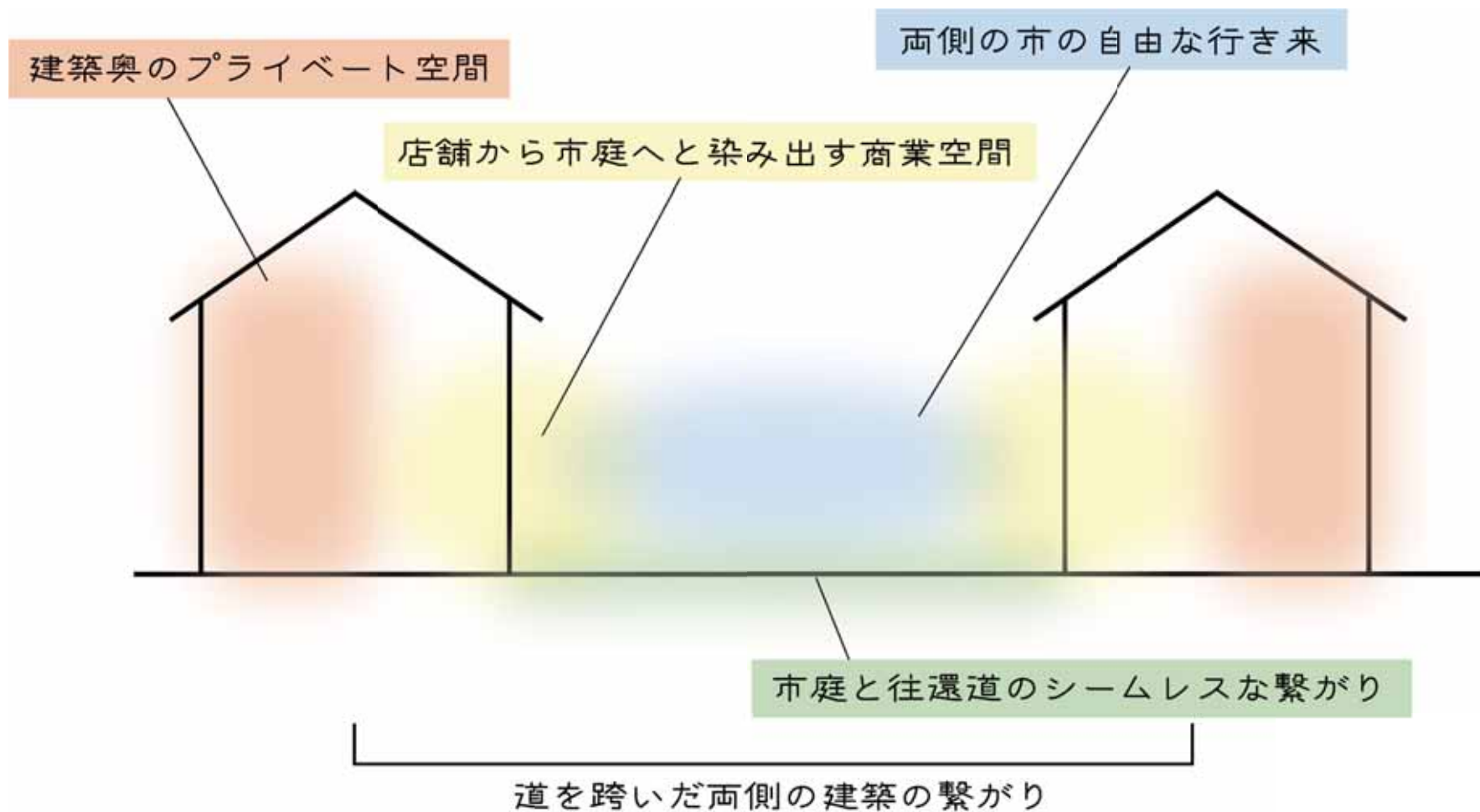
建築や街並みをめぐる近年の取り組み

様々な場所を拠点として様々な方が建築の保存や活用に取り組まれている



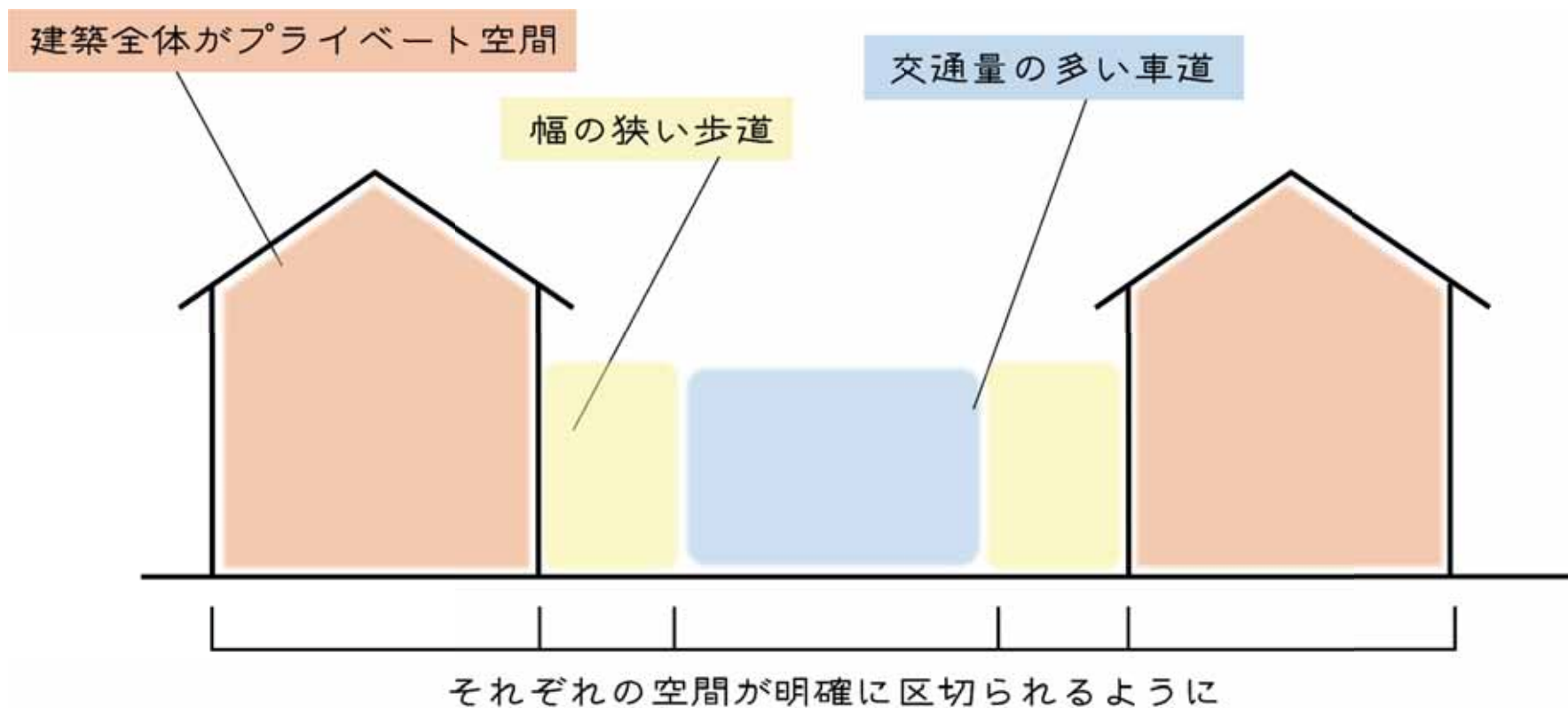
考察：小川が作り出した道と建築の関係

市を起点に発展してきた小川では、**建築と道路の中間領域**が人の活動の場であり、それが小川の街並みを作り出してきた



考察：小川が作り出した道と建築の関係

交通・産業・人口など様々なまちの条件が変わってきた中で街並みも変化かつては緩やかに繋がっていた空間が明確に分断



小川における「道 - 建築 - 人の関係性」が変わってきているのではないか



ワークショップ開催

小川町の現状の課題・将来像など

皆さんと自由にディスカッションしたいと思います！

この場所有効活用したい

この歩道狭くて通りにくい

外にテラス席が欲しいな

ここでこんな活動してます！

